

番号	3 - 14	申請者	6階病棟 看護師 関口 武志
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>脳神経内科病棟におけるALS患者のナースコール実態調査</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>平成21年ALSセンターの設立に伴い主にALS、他にもパーキンソン病、筋ジストロフィー、プリオン病など他にも様々な神経難病に罹患している患者が精査加療目的で入院している。ALS患者は自分の体なのに思うように体を動かすことが出来ず、日常生活の援助としてのナースコール以外に、精神的な不安により誰かに側にいてほしいという思いからナースコールを押していることが予測される。看護師は、ナースコールを押す患者ばかりに看護師の時間や労力が費やされ、ナースコールを押せないもしくは押せずに看護師が来るのをじっと待っている患者のケアは十分にできているのだろうかというジレンマがある。先行研究では、ALS患者のナースコールに視点をおいた研究はみつからず、この研究は新たな知見であることがわかった。類似した研究では、病棟看護師を対象にナースコールへの対応に対するアンケート調査を実施している。そこでは、対応しきれないナースコールの対応の減少は、看護師が精神的にも落ち着いた状態で看護を提供できることにつながると述べている。よりよい看護を提供するために当ALSセンターにおけるナースコールの実態を調査し、ALS患者のナースコール対応について示唆を得たいと考え研究に取り組むこととした。</p>			
審査結果	承認 ( 令和3年5月14日 )		